

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成21年10月22日(2009.10.22)

【公開番号】特開2008-245258(P2008-245258A)

【公開日】平成20年10月9日(2008.10.9)

【年通号数】公開・登録公報2008-040

【出願番号】特願2008-32469(P2008-32469)

【国際特許分類】

H 0 4 M 11/08 (2006.01)

H 0 4 N 7/173 (2006.01)

【F I】

H 0 4 M 11/08

H 0 4 N 7/173 6 1 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月4日(2009.9.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

モバイル配信フレームワークにおけるコンテンツ処理を調整するための方法であって、
コンテンツに関連するメタデータのエンベロープ内に、外部のイネイブラーに対する外部参照および外部の配信イネイブラーに対するメタデータを埋め込むステップと、

該配信イネイブラーによって該コンテンツを処理するための該参照される外部イネイブラーの機能と関与させるために、コンテンツ処理調整ルールを配信イネイブラーに対する該メタデータの中に挿入するステップと

を包含する、方法。

【請求項 2】

前記コンテンツ処理調整ルールは、拡張マークアップ言語「XML」でパッケージされた状態チャートである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記 XML でパッケージされた状態チャートは、埋め込まれた層を有する機能ブロックを含んでいる、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記埋め込まれた層は、共通の XML 要素を定義する第 1 の層と、外部のイネイブラーに対するバインディングを有している、配信イネイブラーに対するメタデータを定義する第 2 の層と、外部のイネイブラーに対するメタデータを定義する第 3 の層とを含んでいる、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記第 3 の層は、前記配信イネイブラーには認識されない、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記第 2 の層は、所定の挙動を有する表現、命令、またはパラメータを含み、該所定の挙動には、前記外部イネイブラーの機能への、該表現、命令、またはパラメータのバインディングを含む、請求項 4 または請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記第 1 の層は、状態チャートの表現言語に対する XML シンタックスを定義するネー

ムスペースによって参照される、請求項 4～請求項 6 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 8】

前記機能ブロックは、状態識別子、ガード表現、外部のサービスの識別子、アクションバンプ、パラメータ、および／または状態遷移のうちのいずれか 1 つ、または任意の組み合わせを含んでいる、請求項 3～請求項 7 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 9】

前記アクションバンプは、イネイブラーの機能に調整命令をマッピングするために用いられる、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記マッピングは、メタデータの解釈層によって実行される、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記状態遷移は、アクションバンプを用いて外部の機能呼び出すことから受け取った結果に基づいている、請求項 8～請求項 10 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 12】

前記外部参照は、外部のサービスに対するネームスペース宣言である、請求項 1～請求項 11 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 13】

前記外部のサービスは、存在サービス、位置サービス、コンテンツスクリーニングサービス、および／または圧縮サービスのうちのいずれかを含んでいる、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】

前記挿入するステップは、処理状態に対する要素内の外部に、イネイブラーに対するスキームを定義する、請求項 1～請求項 13 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 15】

コンテンツプロバイダであって、該コンテンツプロバイダは、外部のイネイブラーへの外部参照および配信イネイブラーに対するメタデータを、該コンテンツプロバイダによって供給されるコンテンツに関連するモバイルコンテンツ配信メタデータの中に埋め込むように、そして該配信イネイブラーによって該コンテンツを処理するための参照される外部のイネイブラーの機能に関連させるために、コンテンツ処理調整ルールを、配信イネイブラーに対するメタデータの中に挿入するように、構成されている、コンテンツプロバイダと、

コンテンツ配信イネイブラーであって、

配信サーバであって、該配信サーバは、該配信サーバに向けられたメタデータを処理するように構成されている、配信サーバと、

配信クライアントであって、該配信クライアントは、該配信クライアントに向けられたメタデータを処理するように構成されている、配信クライアントと

を含んでいる、コンテンツ配信イネイブラーと、

外部のイネイブラーであって、該コンテンツ配信イネイブラーを介して、該コンテンツ処理調整ルールに基づいて、コンテンツを処理するように構成されている、外部のイネイブラーと、

該コンテンツプロバイダからのコンテンツを消費するように構成されているコンテンツクライアントと

を備えている、コンテンツ処理の調整のためのシステム。

【請求項 16】

コンテンツと、

メタデータエンベロープと

を備えているコンテンツパッケージであって、

該メタデータエンベロープは、外部イネイブラーに対する外部参照および配信イネイブラーに対するメタデータを備え、該配信イネイブラーに対する該メタデータは、そこに埋め込まれたコンテンツ処理調整ルールを有している、コンテンツパッケージ。

【請求項 17】

前記コンテンツ処理調整ルールは、拡張マークアップ言語「XML」でパッケージされた状態チャートである、請求項 16 に記載のコンテンツパッケージ。

【請求項 18】

前記 XML でパッケージされた状態チャートは、埋め込まれた層を有する機能ブロックを含んでいる、請求項 17 に記載のコンテンツパッケージ。

【請求項 19】

前記埋め込まれた層は、共通の XML 要素を定義する第 1 の層と、外部のイネイブラーに対するバインディングを有している、配信イネイブラーに対するメタデータを定義する第 2 の層と、外部のイネイブラーに対するメタデータを定義する第 3 の層とを含んでいる、請求項 18 に記載のコンテンツパッケージ。

【請求項 20】

前記第 3 の層は、前記配信イネイブラーには認識されない、請求項 19 に記載のコンテンツパッケージ。

【請求項 21】

前記第 2 の層は、所定の挙動を有する表現、命令、またはパラメータを含み、該所定の挙動には、前記外部イネイブラーの機能への、該表現、命令、またはパラメータのバインディングを含む、請求項 19 または請求項 20 に記載のコンテンツパッケージ。

【請求項 22】

前記第 1 の層は、状態チャートの表現言語に対する XML シンタックスを定義するネームスペースによって参照される、請求項 19 ～請求項 21 のいずれか一項に記載のコンテンツパッケージ。

【請求項 23】

前記機能ブロックは、状態識別子、ガード表現、外部のサービスの識別子、アクションバンプ、パラメータ、および／または状態遷移のうちのいずれか 1 つ、または任意の組み合わせを含んでいる、請求項 18 ～請求項 22 のいずれか一項に記載のコンテンツパッケージ。

【請求項 24】

前記アクションバンプは、イネイブラーの機能に調整命令をマッピングするために用いられるように構成されている、請求項 23 に記載のコンテンツパッケージ。

【請求項 25】

前記外部参照は、外部のサービスに対するネームスペース宣言である、請求項 16 ～請求項 24 のいずれか一項に記載のコンテンツパッケージ。

【請求項 26】

前記外部のサービスは、存在サービス、位置サービス、コンテンツスクリーニングサービス、および／または圧縮サービスのうちのいずれかを含んでいる、請求項 25 に記載のコンテンツパッケージ。

【請求項 27】

処理状態に対する要素内に、外部のイネイブラーに対するスキームをさらに含んでいる、請求項 16 ～請求項 26 のいずれか一項に記載のコンテンツパッケージ。

【請求項 28】

コンピューティングデバイスに請求項 1 ～請求項 14 のいずれか一項に記載の方法のステップを実行させるためのプログラムコードを格納している、コンピュータ読取り可能な媒体。